

令和 7 年 6 月 1 7 日

宗像市長 あて

名称 特定非営利活動法人
男女共同参画ゆいネット宗像

代表者氏名 理事長 小島 輝枝

法定代理人
氏名

提案事業企画書

全事業一覧表の事業番号・事業名	事業番号	(複数の事業を組み合わせる場合は全ての番号を記入してください。)	
	事業名	男女共同参画推進事業の実施及びセンター管理運営業務	
提案の種類	☐ 令和 7 年度事業開始コース		☒ 令和 8 年度事業開始コース
提案事業の名称	男女共同参画推進事業の実施及びセンター管理運営業務		
事業の実施期間	令和 8 年度 ~ 令和 1 1 年度		

提案する 事業の内容	当法人は、宗像市男女共同参画プランに定める基本目標及び基本施策に基づき、その施策の取り組みを市民の視点から企画し、市と調整後、年間を通じて啓発事業の他、男女共同参画の推進に関する事業を実施します。また、男女共同参画推進センターを事業推進の拠点施設と位置づけ、スタッフの専門性と柔軟な発想をもって以下の事業を提案します。 (1) 啓発事業 ・主催講座 女性活躍推進（就業支援）、ジェンダー問題、子育て支援、エンパワーメント、女性の健康支援の5分野に分けて、それぞれに関係する講座を実施 ・共催講座 小学校・中学校、幼稚園等のPTA、各地区コミュニティ運営協議会、その他団体との共催による講座を実施 ・週間事業 男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動、女性の健康週間等に合わせた講演会や街頭啓発、ポスター掲示、ブックフェアなどの事業を実施 (2) チャレンジ支援事業 ・資格取得講座 パソコン検定講座、医療事務、ファイナンシャル・プランニング検定講座、調剤薬局事務などの講座を実施 (3) 情報発信事業 ・広報、市ホームページ、SNSなどを活用した情報発信 (4) 男女共同参画推進センター及び結工房の管理運営 ・結工房の管理運営 利用状況の報告、備品の管理及び貸し出し、消耗品等の購入及び管理 ・情報コーナーの管理運営 図書、DVDの選定・購入、書籍リストの作成、貸し出し状況の集計 ・関連図書の活用 週間事業、講座に合わせた書籍の紹介（ブックフェア） (5) 相談事業の実施 ・女性弁護士による月1回の法律相談の予約受け付け、相談件数の集計と報告
満たすべき 基準について	(ア) 市と民間団体等がそれぞれどのような役割により、提案事業を実施していくか、以下に記入してください。 ・団体：男女共同参画プランを基に市の施策の課題、他の先進的な事例又は社会情勢等を考慮し、市と協議の上、事業を企画し、実施までの業務の進捗を管理する。 ・市：市が定める男女共同参画プランの進捗を図るため、センターの事業企画に対し意見や助言、情報の提供を行う。また、関係する市の部署との調整も行う。 (イ) 提案事業を実施することにより、市民サービスの質などがどのように向上されるか、以下に記入してください。 ・市民目線で事業の企画立案ができる。 ・これまでのメイトムでの集合研修から、各コミュニティや団体等との共催講座の拡充や録画配信で、幅広い年齢層の市民に啓発活動が進む。 ・スタッフの異動によるスキル低下がないため、専門性や経験の蓄積ができ、柔軟な発想のもと、継続的で長期的な視点で事業展開ができる。また一部に夜間や休日（土・日）講座の実施や、録画配信の拡充で、受講者の利便性が図られる。

	(ウ) 提案団体はどのような体制で提案事業を実施するか、以下に記入してください。
	・当法人の会員 13 名の内 8 名を事業に配置する。内訳は理事長、事務局長（副理事長兼務）の 2 名と主体的に業務を行う常勤スタッフ 3 名、経理担当と土日祝日勤務の非常勤スタッフ 3 名とする。運営はメイトムの休館日（月 2 日）や年末年始の休日以外は適切な人員で常時開所する。開館日数は 334 日前後となる。
	(エ) 提案団体の特性を生かし、どのように協働・コミュニティ活動の推進、または専門性が著しく高いサービスの提供が図れるか、以下に記入してください。
	・団体は、これまでの事業を通じ十分な知識・経験を蓄積している。また、継続的な研修等でスタッフの育成も図ったことで、今後も専門知識や経験を活かし、長期的な視点で事業展開ができる。 ・子育て、介護支援制度の充実により、女性の社会進出が進んでいることから、若年層に対しては、これまでの夜間講座の開催のほか、録画配信を併用した手法を多く取り入れることで、受講する講座の選択肢を増やす。同様に交通の不便から、センターまで来場困難な高齢者の増加が見込まれる地域での共催事業を積極的に展開する。開催に当たっては、これまでのコミュニティ運営協議会や小中学校 PTA の他、市民団体等との取り組みを図る。また、これまでどおり、講師料の全額をセンターが負担することや、夜間・休日の開催にも対応することで、広く地域での活動の推進を図る。 ・センターの実施講座の一部をモデルとし、要望するコミュニティが自主事業として取り組むまでの支援をする。
	(オ) 提案団体が実施することで、どのように、より適正なコストで効率的な行政運営ができるか、以下に記入してください。
スタッフの専門知識や経験を活かし、新たな社会問題等に対し、市民ニーズに対応した質の高い講座が提供できる。また、平日の講座に参加できない市民や、交通の不便性からセンターでの講座に参加しづらい高齢者等に対しては、録画配信を併用した講座の一部を実施する。また、休日や夜間開催にも対応することで、受講者の増加を図ることができる等、予算の範囲内で講座の企画立案から実施までを一体的に効率よく実施することができる。	
期待される効果	・今後も男女共同参画推進センターが活発に利用され、また有効に機能していくには、これまで以上のセンターの運営方針が求められる。このことから、これまでの知識、経験を活かし、情報発信の拠点として、さらに事業活動に努める。 ・SDG s 目標達成に向け、多様化する課題に向け積極的に市民へ啓発ができる。 ・SNS の活用等、時代に合った広報活動を充実させることで手軽にセンターの講座や取り組みの情報を知ることができる。 ・センターの実施講座の一部をモデルとし、地域において自主事業としての取り組みが進み、男女共同参画に関する意識の広がりが進むことが期待できる。 ・週間事業や講座に合わせた書籍やポスター掲示を更に充実させることにより、男女共同参画をより身近に感じ、情報を収集することができる。 ・小中学校 PTA や地域・団体との共催講座を実施することにより、普段センターに行くことが少ない層の参加が見込まれる。また、共催講座のメニューを充実させ、いろいろな角度から意識啓発が図られる。
添付書類	■提案事業実施スケジュール：添付 1 ■提案事業についての収支計画書（＊積算要領を参照のこと）：添付 2
宗像市市民活動団体登録	■ 済

* 太枠内に入りきれない場合は、別紙に記入して下さい。